



青山神明遺跡 空中撮影写真 全体図 (南西より)

青山神明遺跡 令和5年度 発掘調査

愛知県埋蔵文化財センターでは中小河川改良事業（一級河川大山川）に伴い、愛知県建設局河川課の委託を受けて、令和5年6月より青山神明遺跡の発掘調査を進めてまいりました。青山神明遺跡は愛知県西春日井郡豊山町大字青山字神明地内にて周知されている遺跡で、弥生時代から江戸時代にかけての遺構と遺物が確認されています。

今回の調査では、神明公園の西側を3箇所にかけて調査を行い、23A区は令和5年6月から9月にかけて、23C区は令和5年10月から12月にかけて調査を行いました。今回の説明会では23Ba区の報告を行います。23A区と23C区の詳細は青山神明遺跡発掘だより1号・2号をご覧ください。



青山神明遺跡 23A 区
空中撮影写真 (南上より)



青山神明遺跡 23C 区
空中撮影写真 (西上より)



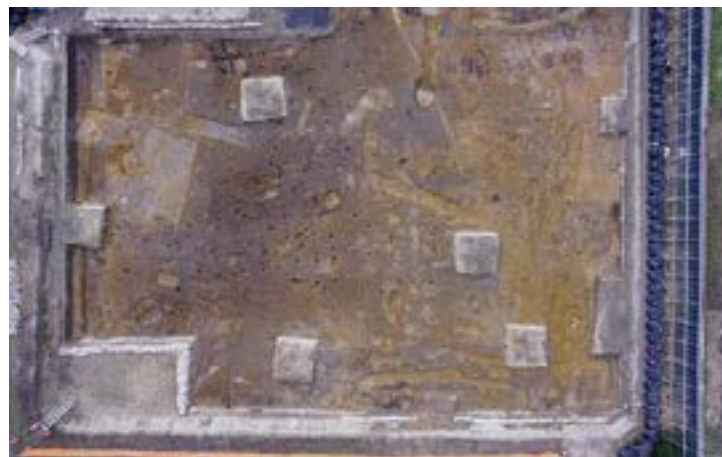
公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
HP <http://www.maibun.com>
TEL: 0567-67-4163

調査支援



株式会社 アート
愛知支店 〒462-0012
愛知県名古屋市北区楠 1-1721
TEL 090-6965-2991

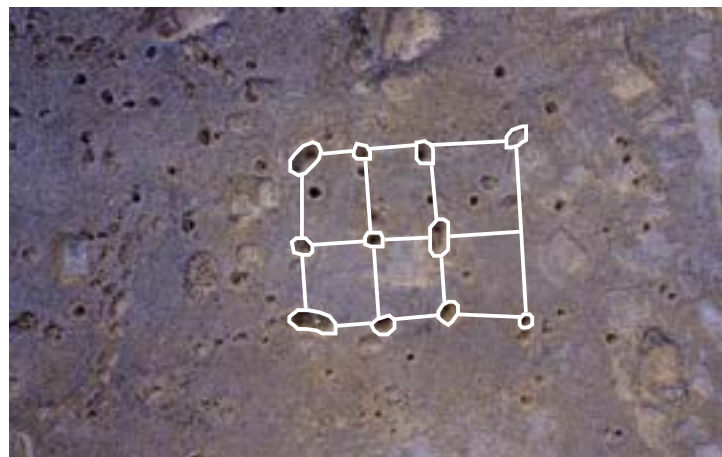
青山神明遺跡 23Ba 区 発掘調査写真



23Ba 区 遠景 (北上より)
中央に掘立柱建物跡があります



土坑 (671SK) 遺物出土状況
残りの良い古墳時代の須恵器 (坏蓋) が出土しました



23Ba 区 掘立柱建物跡 1 (北上より)
白い丸の柱穴が一定間隔で並んでいます



大型土坑 (674SK) 土層断面
大型で、他の遺構と違い黒い均質な土で埋まっていた



土坑 (665SK) 土層断面
鎌倉時代の陶器の欠片が複数出土しました



溝 (573SD) 遺物出土状況
鎌倉時代の山茶碗の底部が出土しました



柱穴 (759SP) 土層断面
古代の灰釉陶器が出土しました。柱を抜いた後に埋まったようです



土坑 (720SK) 遺物出土状況
古墳時代後期の土師器の口縁が出土しました

青山神明遺跡 23Ba 区 概要

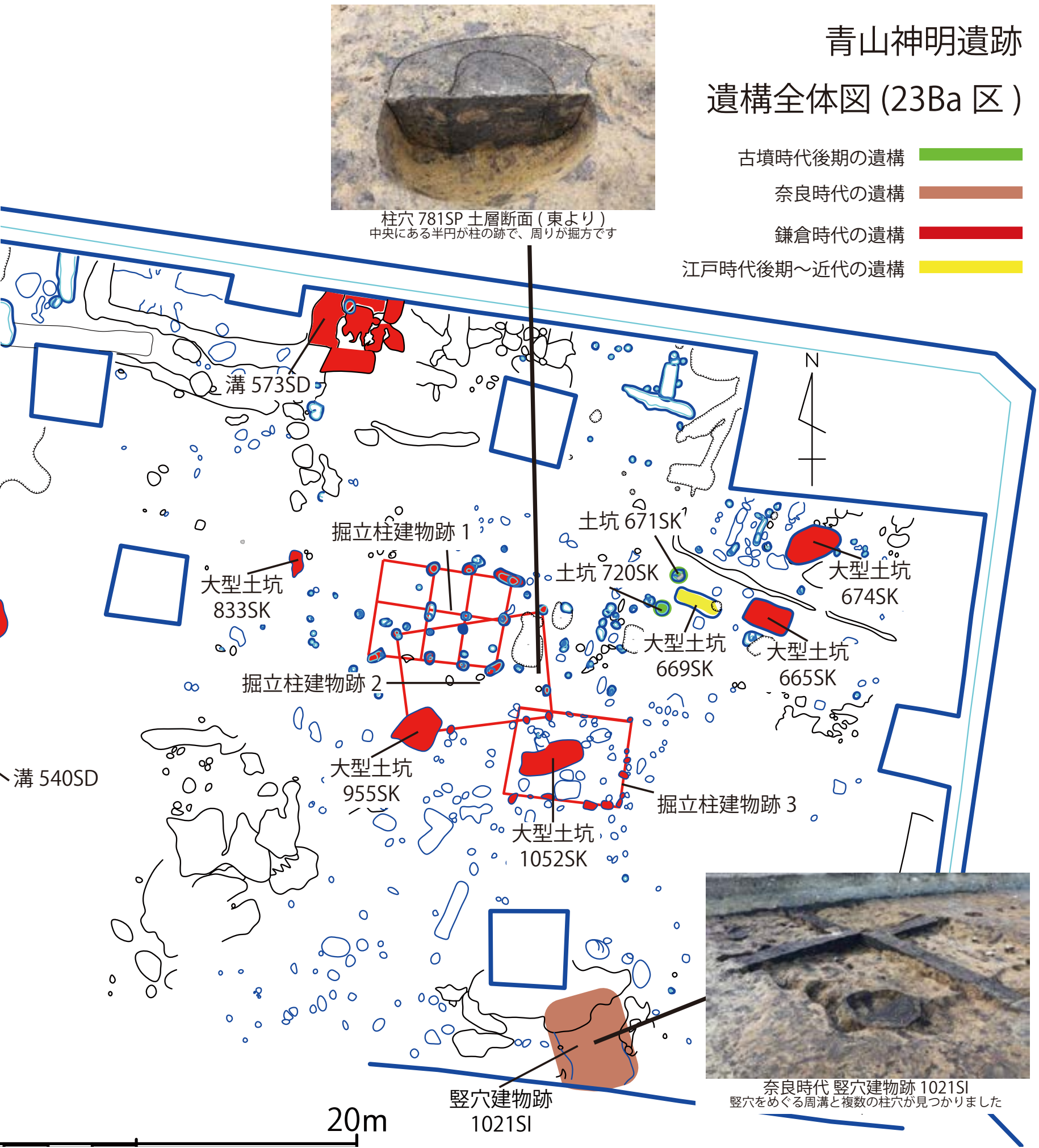
青山神明遺跡の 23Ba 区は、神明公園の西側にある地点で、昨年の 12 月より調査を実施してきました。確認できた遺構と出土遺物は古墳時代から江戸時代にかけてのものがありました。主な遺構には、古墳時代後期の土坑が 2 基、奈良時代の^{たてあな}竪穴建物跡が 1 棟、鎌倉時代の^{ほったて}掘立柱建物跡が 3 棟、溝が 3 条、江戸時代後期の土坑が 1 基ありました。その中で調査区南側にある竪穴建物跡 (1021SI) は奈良時代のもので東西 2.8m・南北 3.45m、平面形は^{すままる}隅丸長方形で柱穴と周溝が確認されました。掘立柱建物跡は調査区中央にあり、掘立柱建物跡 1 は^{けたゆき}桁行 3 間、^{けん}梁間 2 間の東西棟の^{はりま}総柱建物で、^{とうざいむね}鎌倉時代のものと考えられます。

出土遺物は古墳時代の^{すえき}須恵器の^{つきみ}坏身・^{つきふた}坏蓋、^{はじき}土師器の^{かめ}甕、^{かいゆうとう}古代の灰釉陶器や鎌倉時代の^{こざら}小皿や^{やまちやわん}山茶碗の破片が多数確認されました。

以上により 23Ba 区では古墳時代後期から鎌倉時代にかけての集落が営まれ、中世には集落の周囲を溝で囲っていたものと考えられます。



溝 529SD 土層断面状況 (東より)
溝としていますが、井戸の可能性もあります。



青山神明遺跡
遺構全体図 (23Ba 区)

- 古墳時代後期の遺構
- 奈良時代の遺構
- 鎌倉時代の遺構
- 江戸時代後期～近代の遺構

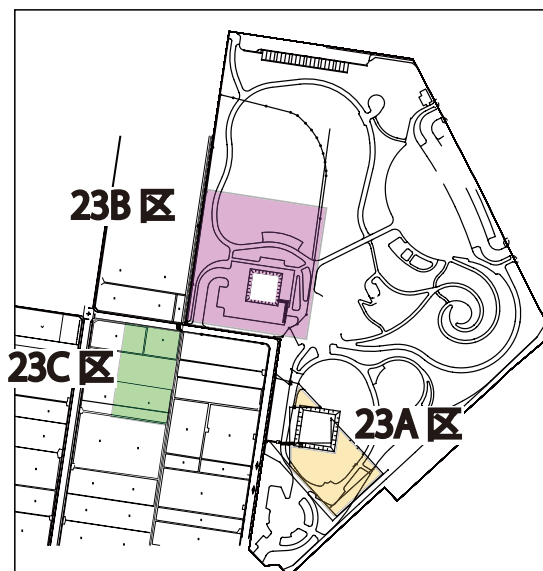
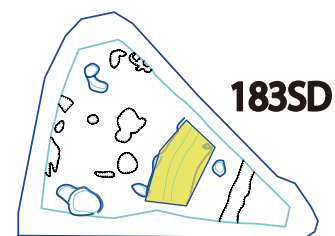


柱穴 781SP 土層断面 (東より)
中央にある半円が柱の跡で、周りが掘方です



奈良時代 竪穴建物跡 1021SI
竪穴をめぐる周溝と複数の柱穴が見つかりました

青山神明遺跡 23A 区 調査成果報告



旧河川跡 山茶碗 (中世) 出土状況



土坑内 山茶碗 (中世) 出土状況



070SD 瓦 (左)・すり鉢 (右)
出土状況

0 4m

■:中世の遺構
■:江戸時代～近代の遺構

23A 区では、中世と江戸時代後半から近代の 2 時期の遺構や遺物が確認出来ました。調査区の西側で確認された旧河川跡では中世の山茶碗などが出土し、旧河川跡の東岸では大小の土坑が 13 基見つかりました。旧河川跡は北東から南西に流れており、大山川の旧河道跡の可能性あります。中世の旧河川跡が埋没した後に、調査区を北東から南西に流れる溝 070SD と、調査区の西側を南北に流れる溝 180SD と溝 183SD が掘り込まれています。これらからは瀬戸・美濃産の碗・皿やすり鉢、瓦などが出土しています。

青山神明遺跡 23A 区 発掘調査写真



23A 区 測量風景
確認した遺構や遺物は、測量して記録します



23A 区遠景 (北東より)
写真上側に大山川が見えます



23A 区 遺構断面
半分だけ掘って、遺構の様子や遺物を確認します



23A 区 全景 (南西上空より)
中央に溝 070SD が中央に見えます



23A 区 溝 183SD 断面写真
黒い土が落ち込んでいる部分が溝の跡です



23A 区 遺構検出状況
黒い土のある部分が、昔の人の痕跡 (遺構) になります

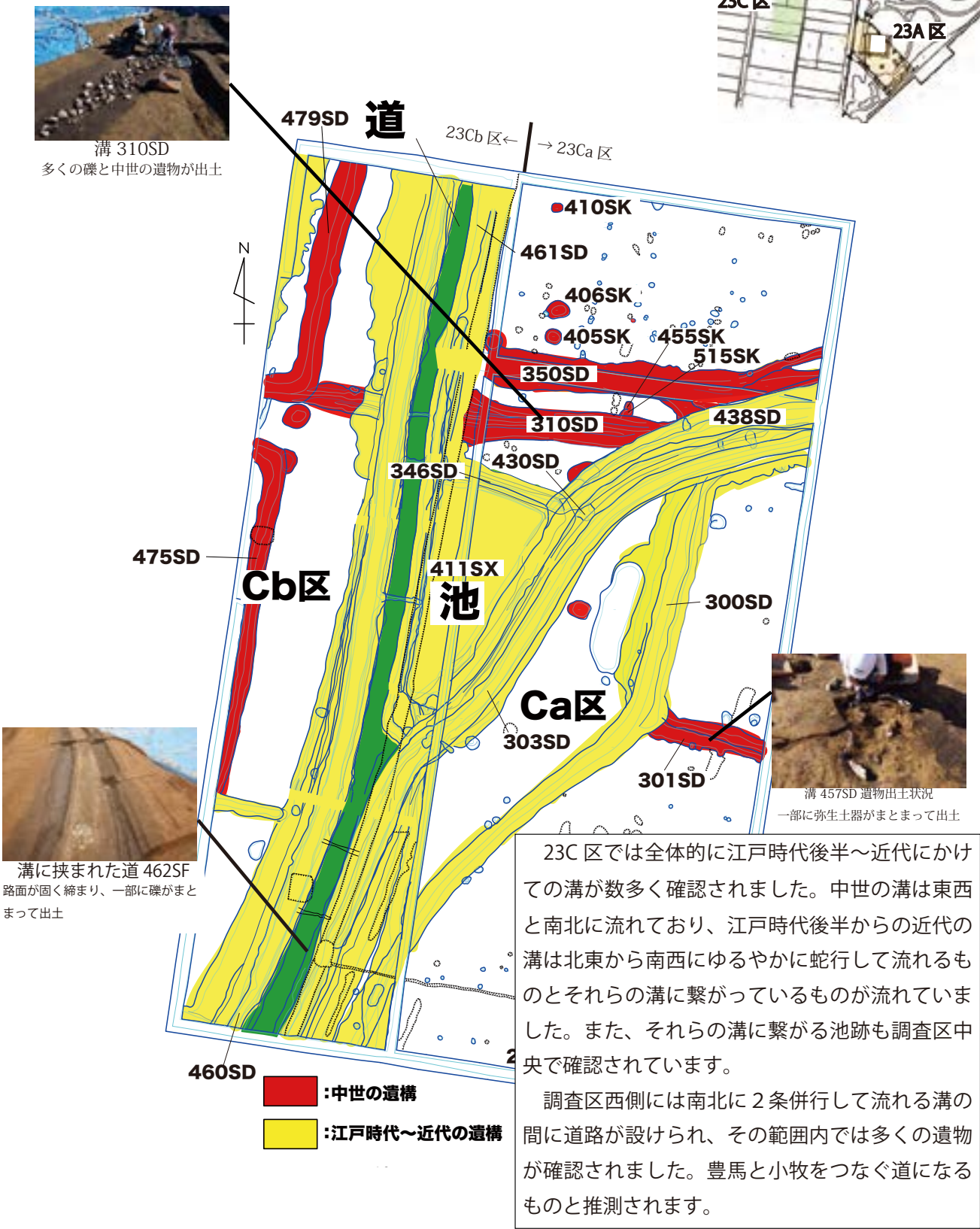


23A 区 出土遺物を洗ったところ
平安時代から室町時代にかけての陶磁器が見つかりました



23A 区 遺構掘削風景
夏場は、扇風機と日陰を用意して調査しました

青山神明遺跡 23C 区 調査成果報告



青山神明遺跡 23C 区 発掘調査写真



23Ca 区 重なる溝の断面
断面の形状の違いで、他の溝と区別する判断材料になります。



23C 区遠景 (南西より)
写真奥に航空館 boon が見えます。



土坑 410SK 遺物出土状況
灰釉陶器などの陶器片が確認されました。



23Ca 区 遺構検出風景
しっかり土を削り、色の違いをはっきりさせます。



溝 310SD の動物遺体出土状況
牛の歯と思われます。何かしらの祭祀の跡の可能性があります。



23Ca 区 遺構検出状況
複数の溝や池 (手前の三角形) が確認できます。



23Cb 区 木材出土状況
道路状遺構の下層より出土した、導水管の跡と考えられます。



23Cb 区 溝と道路の検出状況
色の違いや土質で溝の重なりと道を確認しました。